

会 議 録			
会 議 名	令和7年度第2回棚倉町立学校統合準備委員会		
開催日時	令和7年9月30日(火)	開会	午後6時00分
		閉会	午後7時20分
開催場所	棚倉町役場 正庁		
会議次第	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協 議 (1)住民意見交換会の報告について (2)統合学校の校種について (3)先進校視察について (4)その他 5 閉 会		
傍聴者数	なし		
欠席した委員	八木沼 真二委員		
会 議 議 事 内 容			
1 開 会	事務局 開会に先立ち前回の委員会から委員の異動があったので、新たな委員に対し委嘱状を交付した。 委嘱状を交付した委員：吉田 一榮		
2 委員長あいさつ	益子委員長		
3 教育長あいさつ	荒川教育長		
4 協 議 (1)住民意見交換会の報告について	委員長が議長となり議事を進行した。 事務局から資料P4～P6を基に説明した。 事務局説明後、委員からの質疑を受けたが質問はなかった。		

<p>(2)統合学校の校種について</p>	<p>事務局から資料P 7からP 1 6を基に説明した。</p> <p>事務局説明後、委員から下記の質問があった。</p>
	<p>鈴木雅委員</p> <p>教育委員会の提案はなるほどなと思って聞かせていただきました。統合については保護者や町民のコンセンサスを得たのかなと感じています。そこで資料の1 1 ページですが、小中一貫型と義務教育型のメリット・デメリットがありますが、非常に見やすくありがたいですが、義務教育学校の◎、小中一貫型の○について説明がありましたが、これをもっと客観的なデータや事例の資料というものはないのでしょうか。これだけ提示されても委員の皆さん判断するのにどうかなとあるので、もう少し具体的な例であるとか、例えば学力向上は義務教育学校の方がこう上がってますよとか、そういった例がもっともっとあると判断しやすいのかな。もう一つデメリットの方ですが、義務教育学校の方は全て4項目ある、小中一貫型の方はあまりないのに、なぜ義務教育学校を提案したのか、もう少し説明が欲しいなど。建設費の問題か。というような風にも勘ぐられてしまうこともある、どうなんでしょ。もう少し具体的な資料なりあると委員の皆さん納得されるのかなという感じもします。以上です。</p>
	<p>事務局</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>えー資料の提示ということで、今日はちょっとあれですが、次の(3)にもありますが、このメリット・デメリットが一般的なものとしてご説明させていただきました。それも含め、先進校に視察に行つて確認したいと思っています。また資料等を準備しまして次回の会議では、事例等があれば提示したいと考えております。</p> <p>それと義務教育学校はデメリットが全部あるのにとありましたが、説明でもお話ししましたが、工夫によって解決できるのではと考えますし、私が資料を作成してまして、このデメリットって小中一貫教育をすることで、クローズアップされてますけど、現在の学校、小学校、中学校でもこういった事って十分に考えながら指導されてるんじゃないかなと思いました。例えば達成感を持たせるために工夫はされてるんだと思います。人間関係が固定化しないためにクラス替え席替え等をされてるんだと思います。リーダ</p>

		<p>ーシップを養うために役割をそれぞれに与えたりされてるんだと思います。高学年になれば低学年に影響するからお兄さんお姉さんになったんだよと指導されてるんだと思います。ので、小中一貫教育ということであえてデメリットとしてあげましたが、これは今でもデメリットではないですが、課題としてあることかなと考えております。なのでデメリットはあると挙げましたが、義務教育学校がゆえクローズアップされてしまうのではと考えております。</p>
	橋本委員	<p>町民の説明会私も出ましたが、棚倉が一番少なくてなんか大丈夫なのかなと心配がありました。もう少し頻度をあげた町民への告知をどうか、そういうのが大事かなと思いました。で、2点ほどあります。まず、子どもの人数を見ると令和14年を目指した統合、提案の施設一体型義務教育学校というのは避けて通れないような感じに個人的には思います。そういった中で子ども目線からすると小学校に入ってすぐ専門教育ってどうかと、鈴木先生がおっしゃったようにもう少し深掘した情報提供、事例、数字的なアンケート結果等もう少し収集の方を強く求めます。二つ目が14ページの理由2の小学校段階で教育担任制というのが、ちょっとなんか違和感が個人的にあって、小学校6歳、どの辺から専門性を出すのかちょっとわかりませんが、低学年の中で専門教育って「えっ」できんのも思っちゃいます。また、人として人間性のアップがそれで賄えるのかというのもある面心配です。先生方のスキルがかなり必要なかと思うんですが、その辺含めてちょっと不安なので、もう少し情報提供の方を求めていると思います。子どもたちのためにプラスになるようなことを見つけていけたらと私は思います。</p>
	事務局	<p>ありがとうございます。 資料については、先ほどもありましたが、もう少し具体的な事例や数字等があれば次回までに提示をしたいなと思います。あと、小学校段階での教科担任制ということですが、現段階でも小学校5、6年生でやられていると思います。小学校ですと通常、学級担任が教科を教えると思いますが・・・</p>

	教育長	<p>まずは英語から、学校によっては5・6年生で棚小なんかは取り組んでいただいていますので、ちょっとよろしいですか。</p>
	齋藤委員	<p>棚倉小学校長の齋藤です。教科担任制の導入ということですが、5年生6年生では2クラスありますので、それぞれの担任が得意とする教科を2クラス面倒を見るような、入れ替わりしながら教えていくという様な方法を取ったり、算数の授業なんかはきめ細かく指導するために2クラスを3つのクラスに分けて、早く進むグループ、標準的なグループ、なかなか理解が進まない子のグループということで、3人で指導に当たったりというような形で進めております。低学年ということで懸念があるというお話だったと思うのですが、やはり低学年では安心感が大事だと思いますので、早いうちから教科担任制を入れていくということは十分考えていかなければいけない事かなと思っております。以上です。</p>
	八槻委員	<p>教育委員をしておりました時に山形県だったと思うのですが、一貫校を見学に行ってきました。皆さんが考えているよりは柔軟な感じがしました。ていうのは校舎は確かに一緒でしたが、職員室を見たときは小学校と中学校で先生方が分かれていて、それでちょっと心配したのは小学校と中学校の教員免許を併せて持っている方って中々ないんじゃないかなと思います。なので別々でありながら一緒になってきたらいいかなと思います。それで先ほど鈴木先生が具体的におっしゃっていましたが、ここでいう中1の壁ですが、確か5年生くらいだと思うんですけど、理科の教室に行って初めて専門の先生に習いました。という話を聞いて、やっぱり学年が上になってから専門の先生に習ったという感じがいたしました。それで中学校に上がった時の教科の壁ですね、先生方が全部変わるような、そういった点で緩和されているんだなということを感じてきました。それから交流による先進的発達ですが、小学校でいうと入学の時に上級生が迎えてとなりますが、一貫校の場合は中学校のお兄さんたちが迎えに来て、そうすると上級生は昔の自分と考えながら下級生に対して優しい気持ちを持つっていう話を伺ってそうだなと感じてきました。校舎の中もすごく穏やかな感じがして、とても勉強になって帰っ</p>

		<p>てきた覚えがあります。一応見学してきたのでお伝えしたいと思います。</p>
	西牧委員	<p>私の認識ではですね、郡山市に3つの小中一貫校があって明健小中学校が小中一貫型、湖南小中学校が義務教育型の学校で、西田学園が義務教育学校と、同じ郡山市で3つあるんですね、小中一貫校と義務教育学校が両方あるんですよ、その辺の郡山市に対するリサーチみたいなのは、メリット・デメリットがわかると思うんですけど、そういったことは確認はしていないのでしょうか。</p>
	事務局	<p>ありがとうございます。 義務教育学校の2校については我々も認識はしておりました。義務教育学校は法律に定義されてるので、検索すると出てくるので確認はしております。ただ、小中一貫型の明健小中学校については、申し訳ありませんが認識はしておりませんでした。県内では桜枝岐だけなのかという認識でいたところでした。なかなか小中一貫型の学校は形に出てこないというところがあって、申し訳ございません確認不足です。</p>
	西牧委員	<p>多分、明健小中一貫校は最近出来たと思うんです。西田学園が一番新しいですけどね、なので小中一貫校のメリット・デメリットを考えたら郡山市は義務教育学校、西田学園を作ったのかななんて、そんな風に思っているもので、同じ市内で両方あるっていうのが、あれと思っていたので、そういう質問をさせていただきました。</p>
	益子委員長	<p>はい。ありがとうございます。そうですねその辺の郡山市と情報が共有いただければ対応をお願いしたいと思います。</p>
	八槻委員	<p>すみません。先ほどの義務教育学校を見てきました。校舎が一緒だったのであれでした。すみません。</p>
	鈴木雅委員	<p>今、西牧先生から話があった郡山ですが、明健は施設分離型の小中一貫校なので、施設一体型の小中一貫校の情報などがあると、八槻先生おっしゃったような義務教育学校でも出来るでしょうけども、施設一体型の小中一貫校でも</p>

		できないことはない、ということは感じています。ですから施設一体型の小中一貫校の情報などもありたいかなと感じはしますが。
	事務局	ありがとうございます。 あの、色々サーチしているのですが、なかなかヒットしてこないというのが現状でして、もう少し県などにも聞きながら確認していきたいと思います。ただ、今の段階では施設分離というよりは施設一体型の方が、よりメリットがあるのではという認識ではあります。
	鈴木雅委員	さっきの免許の話もありますが、義務教育学校となった時に中学校の先生が小学校の子どもたちをどのように指導できるのか、という不安があったりとか、外側から見れば交流ができていいのだろーと思いたすが、実際は働いている先生方からすると、中学校だけ経験のある先生方は専門的なことは教えられるでしょうけども、その授業スタイルであったりとか、そこは創育工夫で何とかなるでしょうという話かもしれませんが、働く教員側の大変さっていうのも出てくるのかなと感じています。そういうのであれば校舎一体型の一貫校というのも一つの選択。ただ、国の補助で考えれば、いろんなことを考えればやはり義務教育学校の方というのも分かりますけども、その辺のいろんな兼ね合いもあるんでしょうけども、内容的なことを考えたときにその辺は皆さんいろいろ考えていった方がいいのかなと感じております。なので、施設一体型の小中一貫校の情報をぜひ、メリット・デメリットも含めていただけるとありがたいかなと感じました。
	事務局	ありがとうございます。 次回の委員会までに資料の方を整えたいと思います。
	山口委員	子どもの数は少なくなってきて、これはやむを得なくてですね、反対する以前にやむを得ないという意見が強い訳ですよね。一方で統合ということで走っているわけですけども、社川小学校での説明会では19名なんですね、私も参加してましてけども、残念ながら2・3の意見で終わってしまった気がしまして、もっと詰めた意見が欲しかったなと個人的に思っていて、これはできるかどうかですが、

		<p>もっと別な面から意見をもらってもいいのかなと感じもいたしました。それで2つほどお尋ねしたいのですが、5ページの廃校となる校舎の利活用ですが、各地域で学校とは一つの誇りとなる拠点なんですね、それが無くなる心配があるわけで、その利活用はどうなんだという意見なんですね。前にも質問しましたがけれども、この問題については並行して考える必要があるのではないかと。地域によって特性が違いますから、それぞれの地域の良さを活かして利活用するとなると思うんですね、その辺を今後考えていく必要があるんじゃないかと思います。それから3ページなんですが学校統合の方向性なんですが、幼稚園の関係なんですけれども統合のイメージの中には幼稚園も含めて取れていいのかなどうかお尋ねいたします。以上です。</p>
	事務局	<p>まず、1点目の廃校後の利用についてですが、この準備委員会は開校・統合の準備になります。別の組織として役場の中で庁内の検討委員会を各課長、町長、副町長、教育長で組織してあります。その中の協議事項として廃校の利活用がありますので、そちらの方で同時に検討しております。まだ、そこまで話は進んでおりませんが今後協議していきます。幼稚園の関係なんですけれども、近津幼稚園につきましては今年の5月に小学校・中学校と同じく、園児の入園予定の園児数を把握した段階で、近津幼稚園の今後の方向性ということで保護者の方々に、園児数の推計とともに近津幼稚園については令和10年度から棚倉幼稚園と統合するような方向が考えられますとお話をさせていただきました。で6月にこの準備委員会を立ち上げて、この委員の中にはPTA関係の方、幼稚園の園長先生とも委員になっていますので、この準備委員会の中で合わせてご協議していただく形をとりました。</p>
	山口委員	<p>あの、その場合ですね。将来的にね近津幼稚園ばかりではない、そうした場合に幼稚園を含めた一貫校という理解でよろしいんですか。</p>
	事務局	<p>将来的は、まっ学校ではないので幼稚園は幼稚園で一つになる可能性もあるということです。</p>

齋藤委員	<p>先ほど小中一貫校か義務教育学校かというお話がありました。一番大事なことは教育課程、カリキュラムの問題かなと思います。どういうカリキュラムを組んで、どういった子どもたちを育てていきたいかということに基づいて、小中一貫なのか義務教育学校なのかになると思うので、そういったカリキュラムの例など情報をいただけたらありがたいかなと思いますのでよろしくお願いいたします。以上です。</p>
鈴木雅委員	<p>統合の理由として16ページに「統合後の建築費用の国の支援が受けられる」というものも、まあここに理由として挙げている以上は、その義務教育学校、まあ今時期尚早ですし、お金のことなのでまあ予想もつかないということもあるかもしれませんが、まあ統合して今の棚倉小学校のところに、まあ小中一貫校ではないけども、まあ分離型の一貫校として棚倉小学校を改築してそこで統合させるっていうようなことと、もしくは別な場所で新たなその小中一貫校、校舎一体型、義務教育学校とした場合の、その予算と言いますか、こう町に対する負担ですよ、そういうことのお金の面についても、何かこう情報があれば、あの委員の皆さんもその形を考えていく上での1つの資料にもなるのかなんとも思うんです。今出せというのは具体的には数字を出せちゃうのは無理でしょうけども、まあ大まかなですか、まあ予想というか、そういうところもやっぱりこう考える視点にもなるんじゃないかなと思うんですけども。いかがですか。</p>
事務局	<p>数字的なものは、やはり今の現時点で申し上げられないんですけども、予算の規模感としては、やはり今の小学校を改築・増築なり、施設分離の小中一貫校と義務教育学校として小中合わせてということになると、小中一貫型の場合、小学校の改築・増築だけではなくて中学校も今後大規模な改修を考えると、予算の規模感としては財政的にはやはり義務教育学校として考えていくことが財政運営上はベターかなとは思っています。</p>
緑川委員	<p>はい。私はそういった経験があるものですから。建物関係のお話が出ましたので、ちょっと知っている範囲で言いますと、現在の学校がある場所にもう一度改築をすること</p>

		<p>になると当然仮校舎が必要になります。その影響で当然授業にも支障が出ると思いますので、できれば場所は別な場所で新築した後に一斉に引っ越すような形が良いのではないかと思います。それから補助金の関係ですが教育予算は国全体の中では非常に少ないですね。例えば補助金1/2といっても実際には実勢価格からすればそれが1/3とかその程度になります。だからそんなに補助金としては多く来ないと見ておいた方がいいのかなという風には思っています。あとついでですが、私も義務教育学校ってのはどうかなってというのは、どうしてもイメージ的には小さな人口小さな生徒数の方がと思っているものですから、本当にそこでいいのかなって思っているものですから、ただ今度の視察の話になると結構な人数でも義務教育学校になっているようなので、やっぱりそのメリット・デメリットをはっきり見て考えた方がいいのではと思っています。以上です。</p>
	事務局	<p>はい、ありがとうございます。あの、予算的な話がありましたので、あの、ま、次回までにできるだけ資料を整えたいと思いますが、あの、あまり正直最初はこの場所で予算的な話はしたくないなというのが正直なところでありました。ので、まあ理由も、まあ一番最後につけたっていうところではありますが、ただ正直大事なことであると感じております。あの、本当に、何億、何十億、もしかしたらもう一桁ぐらいになってしまうのではないかなという予測もありますので、まあ非常に大事なことで認識しておりますので、あの、できる限りの資料を準備したいというふうに思います。ありがとうございます。</p>
(3)先進校視察について		<p>事務局から資料P17からP18を基に説明した。 事務局説明後、委員から下記の質問があった。</p>
	益子委員長	<p>はい、ありがとうございました。先進校視察についてということで、あの今回私共のその校種ですね、校種に関して、まあ、採択の方向性義務教育学校でございますので、是非あの、皆様方、委員の皆様方で参加される方は事務局への連絡をお願いしたいと思います。</p> <p>特にご質問とかございませんでしょうか。大丈夫でしょうかね。</p>

(4)その他	事務局	事務局から資料P 1 9を基に説明した。 事務局説明後、委員から下記の質問があった。
	益子委員長	<p>はい。次回の会議の日程についてご説明がありました。委員の皆様は日程調整の方をよろしくお願いたします。その他、質問等はございませんでしょうか。</p> <p>なければ、皆さんから忌憚のないご意見等々いただきましてありがとうございます。</p> <p>あの、統合に関して言うと、あの個人的な話で恐縮なんですけど、50年前に棚倉中学校が統合しました。当時、棚倉中学校の校舎は統合した翌年に校舎ができたんですね。多分校舎ができる前年に統合し、棚倉・近津・社川、それぞれの校舎で統合したまま、それぞれの校舎で生徒の方が勉強を励んで1年経った翌年校舎ができて、初めて統合の校舎に入った。で、初めて私の世代は、その統合した校舎に入ったタイミングなんです。今こういった場におりますと、入った当時子供ですからね、よく分からなかったんですけども、当時考えると、もちろん時代背景は全然違うんですけども、当時もこういった形で様々なご意見の中で、それぞれ地区のシンボルですよ中学校自体がね、それぞれ地区にあった中学校を統合し一箇所に持っていくであるとか、通学の手段をどうするであるとか、様々な意見があったんじゃないかなというふうに推測されるところです。</p> <p>50年前、周りの状況も違いますし、経済の環境も違いますし、様々で違ってはいるんですけども、ただ思うことはやっぱり、先生方から皆さん方から意見がありましたように、子供たちがいかに新しい学校教育の中で、すくすくと育てるような環境を作っていけるかってすごく大事ななと思います。</p> <p>当時やっぱりあの中学校に行った時には、私分校でしたので、少ない人数から来ましたがすごいギャップだったんですね、中学校に行った時に。少ないところから入りましたが、そんなところでもなんとか来れたなとありますし、これから先統合していく中でも、いろんな形でその子供たちがいい環境で進められるように、この委員会、準備期間の中でですね、いろんな意見を出し合いながら、町当局に提言をしていければありがたいなと思っております。</p> <p>はい、ちょっと余談を話してしまいましたが、特に校種の関係、今後も議論、委員の先生方は、それぞれの立場代表</p>

		<p>になってここにいらっしゃってます。是非あの、それぞれの立場の皆様方から意見を大きくして、また次回の準備委員会の中でご意見頂戴できるとありがたいなと思ってます。是非よろしくお願いします。 それでは事務局に戻します。</p>
6 閉 会	事務局	午後7時20分終了